



日本最古の巡礼道「西国三十三所」は草創1300年を迎えました。
「西国三十三所草創1300年 記念大法要」
《 取材のご案内 》

4月15日（日）10:00～12:15（報道受付9:30～）
 西国第八番札所 総本山「長谷寺」（奈良県桜井市初瀬731-1）



日本最古の巡礼道33寺院で構成する「西国三十三所」（会長：石山寺座主 鷲尾遍隆）は、今年2018年（平成30年）に草創1300年を迎えたことを記念して、4月15日（日）、西国三十三所の創始者・徳道上人が開基した第八番札所の長谷寺に於いて、「西国三十三所草創1300年 記念大法要」を厳修いたします。

当日は、**厳粛な正装姿の33寺院の代表者**が、長谷寺の境内を練り歩いた後、本堂に於いて特別開扉中の日本最大の木像仏像「本尊 十一面観世音菩薩立像」に、**西国三十三所が草創1300年を迎えたことを奉告する法要**を執り行います。

ぜひご取材賜りますよう、お願い申し上げます。

合 掌

実施概要

- ◆日 時 4月15日（日）10:00～12:15
 ※報道受付は、長谷寺の「総受付」から徒歩10分程度の「本坊」前にて、9:30より行います。
 ※お練りを撮影希望の方は早めにお越しくください。撮影スポットをご案内します。
- ◆場 所 **総本山「長谷寺」（西国第八番札所）**
 （所在地：奈良県桜井市初瀬731-1 電話番号：0744-47-7001）
- ◆内 容

時 間	次 第	内 容
10:00～10:20	お練り	厳粛な正装姿の33寺院の代表者全員が、「本坊」の玄関前から、登廊を通り、「本堂」まで練り歩きます。
10:20～11:45	記念大法要	「本堂」にて、特別開扉中の日本最大の木像仏像「本尊 十一面観世音菩薩立像」に、西国三十三所が草創1300年を迎えたことを奉告する法要を厳修します。 終了後、「本坊」まで戻り、全員で記念撮影を行います。
11:45～12:15	草創1300年記念事業 ご説明	「本坊」にて、草創1300年記念事業の概要をご説明させていただくとともに、皆様のご質問にもお答えします。

◆当日の取材についてお願い

お手数ですが会場準備の都合上、**4月12日（木）まで**に別紙「ご取材返信用紙」にて、ご参加の有無をお知らせくださいますようお願い申し上げます。

E-メールでお申し込みの方は、スマートフォン・タブレットなどで右記のQRコードを読み込んでいただくと便利です。

取材申込用
QRコード





西国三十三所草創1300年
1300 years since the inception
of the pilgrimage to Saikoku
Senjusansho

◆西国三十三所とは

718年(養老2年)、観音菩薩が人々を救うために示したと伝わる観音霊場のルーツです。その後、「観音菩薩は33の姿に身を変えて人々を救う」という教えのもと「西国三十三所」と総称され、各寺院は「札所」となって順番に参拝する巡礼文化を生み出しました。

その総距離は約1,000キロメートルに及び、和歌山県、大阪府、奈良県、京都府、滋賀県、兵庫県、岐阜県の2府5県を包括するように伸びています。その三分の一が中世日本の首都・京都に集中していることを背景に、「西国三十三所」が生んだ観音信仰と巡礼文化は全国に広がりました。

現在、観音菩薩の美しさは海外の注目も集め、多くの外国人が訪れる巡礼道になっており、「西国三十三所」は1300年という節目とともに新しい時代の扉を開きます。



「西国三十三所草創1300年記念事業」ロゴマーク
観音様が三十三所巡礼道をまとうイメージを表現しています。



日本最古の巡礼道33寺院「西国三十三所」(都道府県別／数字は札所番号)

和歌山県	1番 青岸渡寺	2番 金剛宝寺(紀三井寺)	3番 粉河寺
大阪府	4番 施福寺	5番 葛井寺	22番 総持寺
	23番 勝尾寺		
奈良県	6番 南法華寺(壺阪寺)	7番 岡寺	8番 長谷寺
	9番 興福寺 南円堂		
京都府	10番 三室戸寺	11番 上醍醐 准胝堂 (醍醐寺)	15番 今熊野観音寺
	16番 清水寺	17番 六波羅蜜寺	18番 六角堂 頂法寺
	19番 草堂 行願寺	20番 善峯寺	21番 穴太寺
	28番 成相寺	29番 松尾寺	
滋賀県	12番 正法寺(岩間寺)	13番 石山寺	14番 三井寺
	30番 宝蔵寺	31番 長命寺	32番 観音正寺
兵庫県	24番 中山寺	25番 播州清水寺	26番 一乗寺
	27番 圓教寺		
岐阜県	33番 華蔵寺		